

(9) 道路・交通

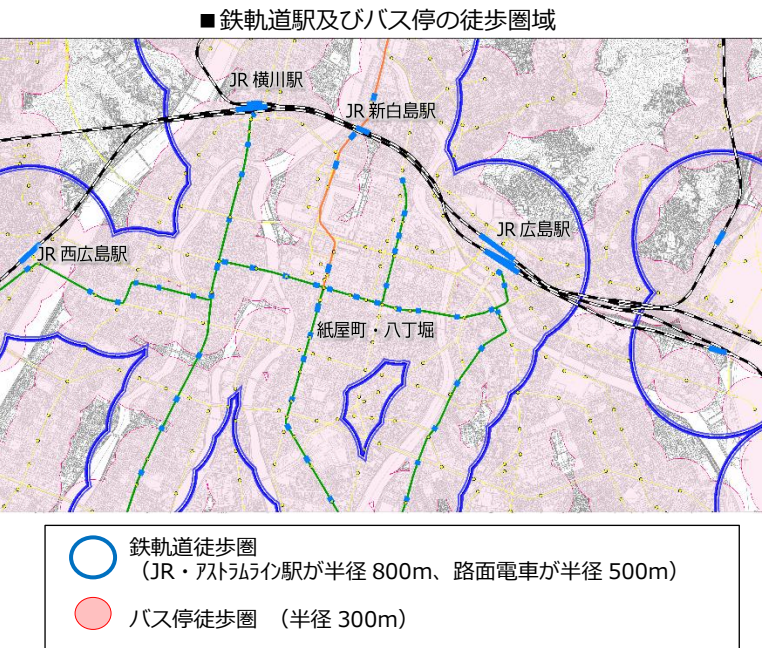
現状分析の視点
(想定する課題)

○自動車の利用が多く、歩行者が歩きやすい空間が少ないのではないか。

現 状

- 都心は既存の公共交通機関によってカバーされている。
- 都心へのアクセスは公共交通機関の利用が多く、徒歩や二輪の利用も増えている。
- 歩行空間における歩行者の安全や休憩施設について改善を望む意見が多い。

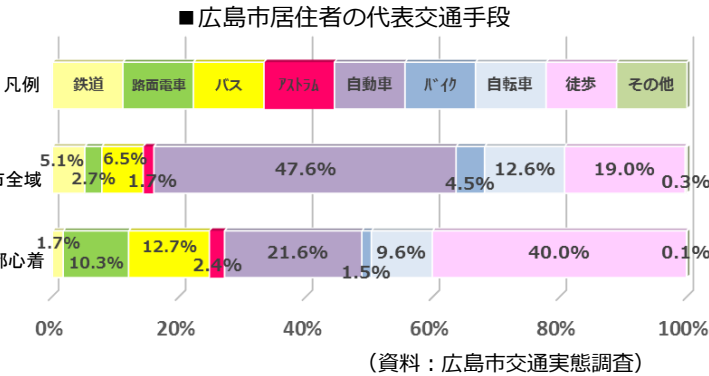
ア 都心における公共交通利用圏



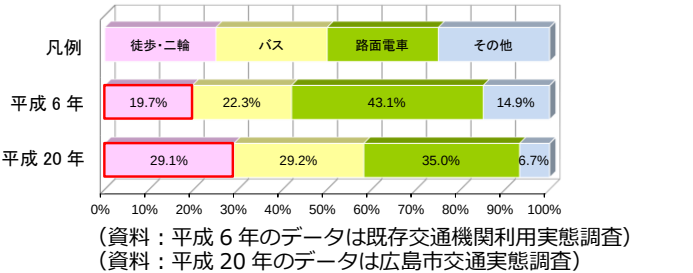
(資料：国土数値情報より作成)

- ・都心は、J R、アストラムライン、路面電車、路線バスの公共交通機関によってカバーされている。

イ 代表交通手段

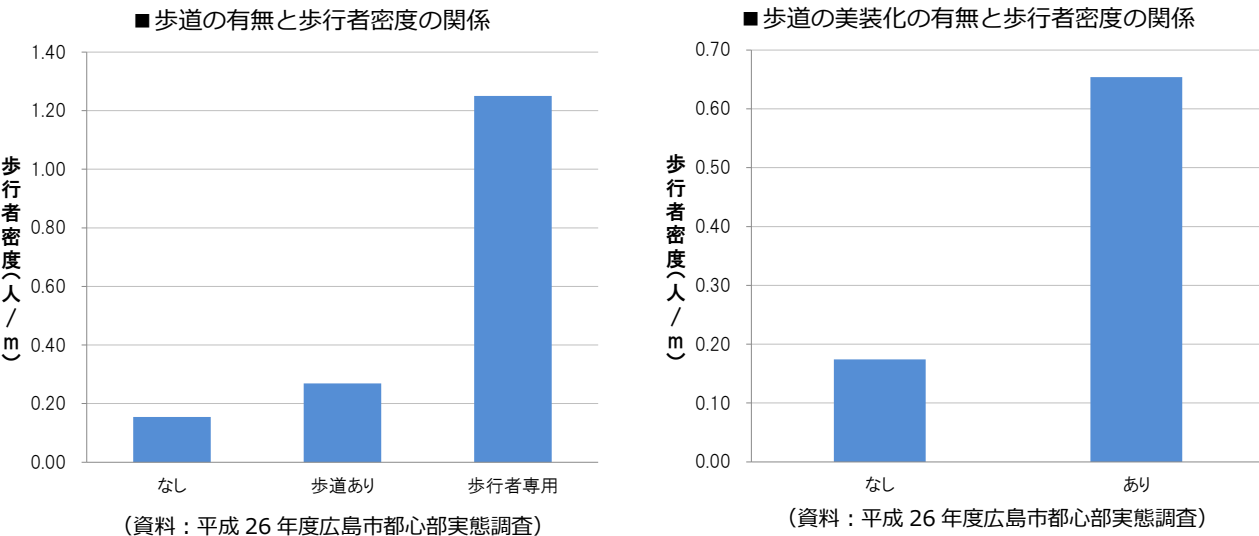


■JR 広島駅降客の交通機関分担（紙屋町・八丁堀地区方面）



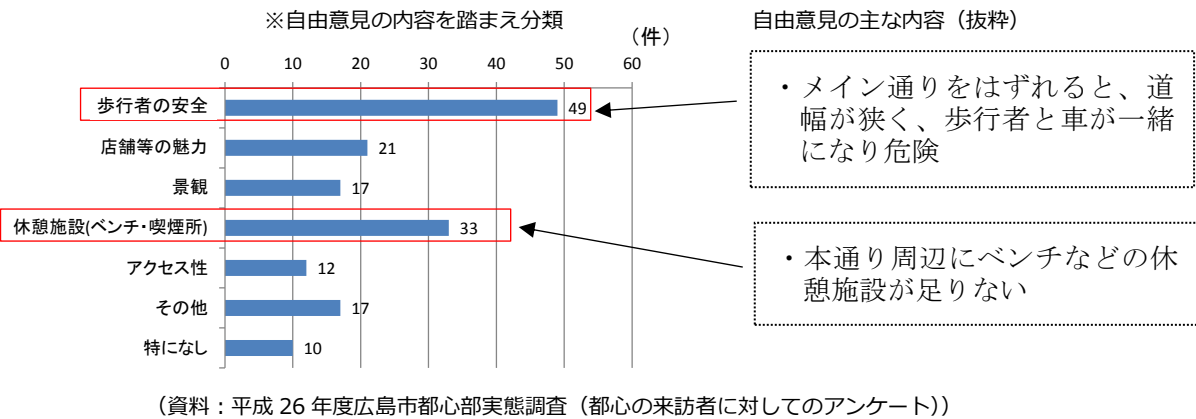
- ・広島市居住者の都心への交通手段は、市全域に比べて自動車が少ない、公共交通機関や徒歩が多い。
- ・J R 広島駅から紙屋町・八丁堀地区を目的地とする交通手段は、徒歩・二輪及びバスが増加している。

オ 歩行者密度との相関 【※都心における歩行者密度の状況については、7 ページを参考】



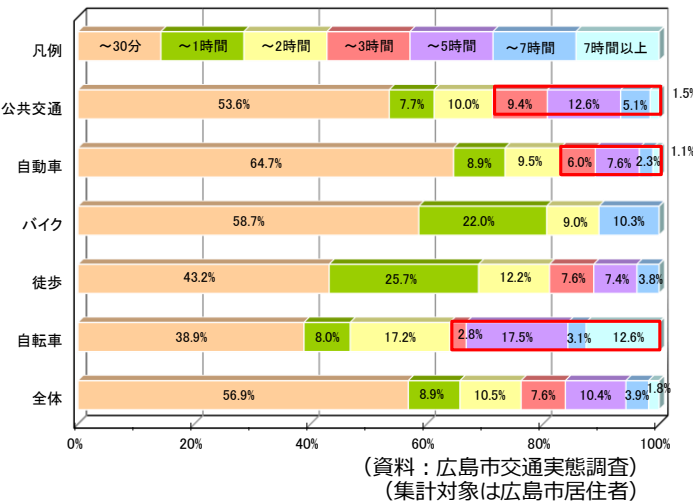
- ・歩道が設置され、美装化されている箇所の方が、歩行者密度が高くなる傾向にある。

カ 都心の通りで改善すべき点（都心の来訪者に対するアンケート【自由意見】）



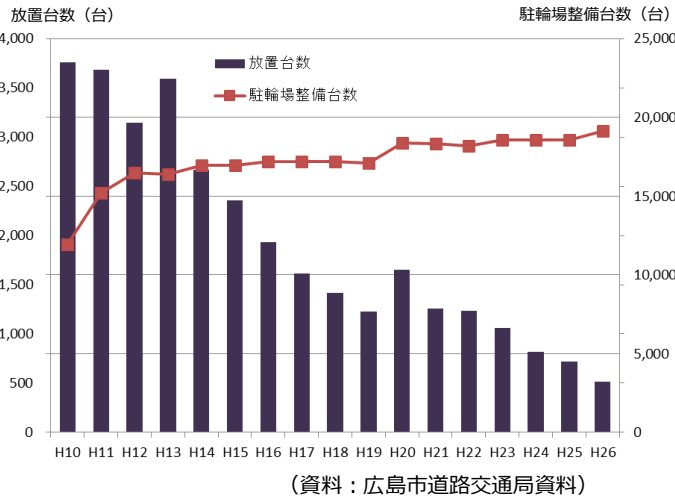
- ・都心の通りで改善すべき点として、「歩行者の安全」と「休憩施設」に対する意見が多い。

ウ デルタ市街地以外の地区から紙屋町・八丁堀地区への買物・私用の際の代表交通手段別滞在時間



- ・公共交通及び自転車を利用して都心へ買物や私用で訪れる人は、自動車利用者比べて、滞在時間が長い傾向にある。

エ 自転車等放置規制区域における放置台数と駐輪場整備台数の推移



- ・駐輪場の整備、放置自転車対策の徹底などにより、放置自転車は減少傾向にある。